

令 2-02 男女共同参画推進専門委員会議事メモ

日 時 令和2年7月29日(月) 13:30 ~ 13:55
場 所 オンラインにて開催
出席者 尾西理事(委員長)、森脇、林、宮田、江藤、水谷、高瀬、宇野、常、林原、
中湖各委員
欠席者 小川委員
陪席者 世古人事労務チーム副課長、島田人事労務チーム副課長、
中島男女共同参画推進室室長、木村同室員、落合同室員

○協議事項

1. 令和2年度後期育児等との両立のための研究補助者雇用経費助成の募集について

委員長から、資料1により本学の教員が、出産・子育て又は介護と研究の両立ができるよう支援するために研究補助者を雇用する経費を助成する本事業について、後期分も前期分とほぼ同程度の予算を確保できているので、助成対象者、助成額等同じ内容で募集する案である旨説明があった。

なお、応募者多数の場合には、4点の対応策（①申請した金額よりも減額する。②原則として新規応募者を優先する。③同一事由による支援は、特別な事情がある場合を除き助成期間を限定する。④一人当たりの助成金額の上限を現行の半期30万円から20万円に下げる。）を基に、採用決定の際に再度検討することとする旨の説明があり、審議の結果、承認された。

2. 三重大学「男女共同参画に関する意識調査」の実施について

委員長から、本調査は平成21年度、平成28年度の実施に続いて本年度行うものであるが、この調査結果がさつき保育園の増築・定員増加に繋がったという実績もあり、本学の中期計画策定にも影響を及ぼす重要な調査であるとの説明があった。続いて、資料2-1は、経年変化をみる設問と本年度本学が子育てサポート企業としてくるみん認定を受けたことも考慮し、今後本学が注力すべき施策等を策定していくためのベースになる設問の案を作成したものであり、事前に委員の皆様から各種ご意見や修正点等のご指摘を受け、前2回の調査からの変更点及び追加の設問については赤字で示してある旨説明がなされた。次に、設問内容について全委員による確認作業及び意見交換が行われた。その結果、設問Iの問3で回答者の性別を尋ねる質問で、LGBTの方へ配慮が必要なことから、選択肢の①男性、②女性に「③その他」を加えることとなった。最後に委員長から、9月に実施する本調査については7月15日開催の教育研究評議会において実施の報告と協力依頼を行ったが、各学部等の9月の教授会開催時はまだ調査期間中であるため、各委員に置かれては再度の周知と協力要請をお願いしたい旨依頼がなされた。

3. その他

なし

○報告事項

1. 国立大学協会男女共同参画小委員会について

江藤委員から、資料3により7月13日にオンラインで開催された国立大学協会男女共同参

画小委員会について参加報告があり、男女共同参画をめぐる最新の動向や次期アクションプランに係る検討状況等について説明がなされた。

2. 第6回学生の男女共同参画に関する意識調査について

委員長から、資料4により今年度からイノベーション学研究科所属となった朴先生を中心に実施している本調査について、本学学生及び中国南京審計大学、韓国世宗大学の学生への調査の進捗状況及び調査数について報告があった。

3. 令和2年度男女共同参画推進フォーラムについて

委員長から、資料5により8/27～9/26 国立女性教育会館主催で開催される令和2年度男女共同参画推進フォーラムについて、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のためインターネット配信によるオンライン形式で開催されることとなったことの報告があり、基調講演、シンポジウム、ワークショップ・パネル展示が特設サイトで掲載されるので、ご都合が合えば是非参加していただきたい旨案内があった。なお、本学がこれまでこのフォーラムに参加しパネル展示を行ってきたが、今回は申し込みが間に合わなかったため、来年度は是非参加したいとの発言があった。

4. その他

- ・委員長から、資料6により令和2年度津市男女共同参画フォーラム わあむ津を、令和3年2月6日（土）に津市久居アルスプラザギャラリーにて開催する旨、津市から連絡があったので、本学として参加申し込みをする旨報告があった。

- ・江藤委員から、日本学術会議が8月10日に「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティに関する課題と今後の展望」をテーマとした公開シンポジウムをオンラインで開催するとの案内があり、別途詳細をお知らせするので、各委員の参加及び周知について依頼がなされた。

以上